

2023年度中間期決算説明資料



(2023年11月現在)

■ 1. 2023/9期（中間期）の業績2
■ 2. 貸出金の推移3
■ 3. 総預金+預り資産残高の推移4
■ 4. 自己資本の状況5
■ 5. 企業価値向上に向けた取組み6

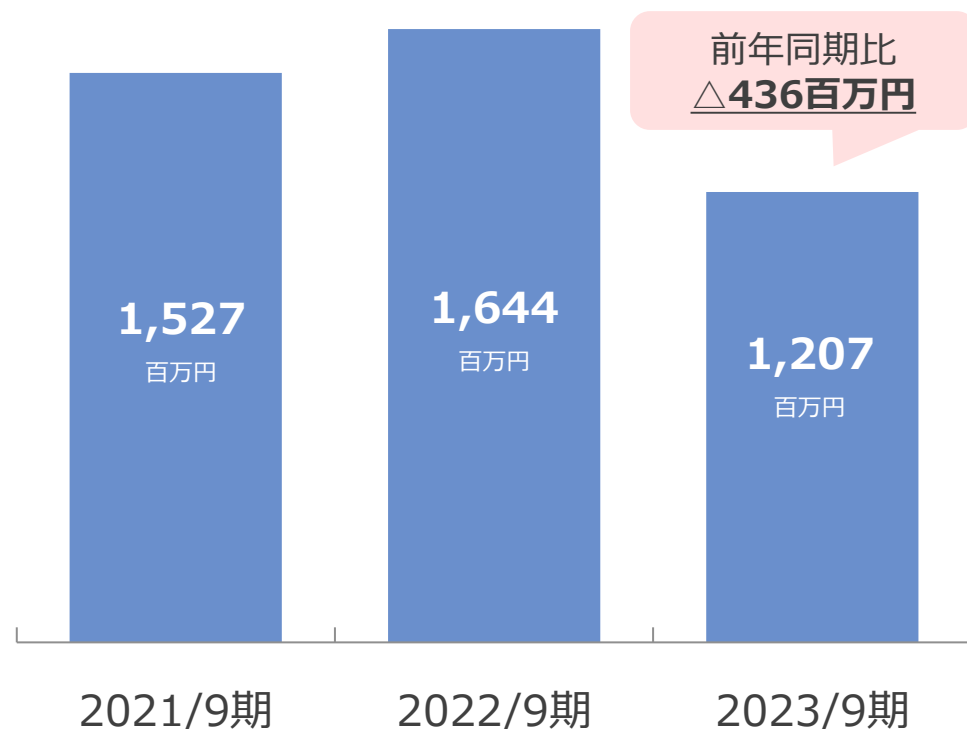
1. 2023/9期（中間期）の業績

経常収益は前年同期比27百万円増加して59億35百万円、中間純利益は前年同期比3百万円増加して8億41百万円となり、前年同期比増収増益の決算となりました。

単体

(百万円)	2022/9期	2023/9期	増減
経常収益	5,907	5,935	27
資金利益 (除く投資信託解約損益)	4,197	4,220	22
役務取引等利益	757	522	△235
経費 (除く臨時処理分)	3,437	3,399	△37
経常利益	1,482	1,208	△274
中間純利益	838	841	3
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	1,644	1,207	△436
与信関連費用	△8	△32	△23
総資金利鞘	0.16%	0.20%	0.04%
お客さま向けサービス業務利益率	0.21%	0.20%	-0.01%

コア業務純益（除く投資信託解約損益）※

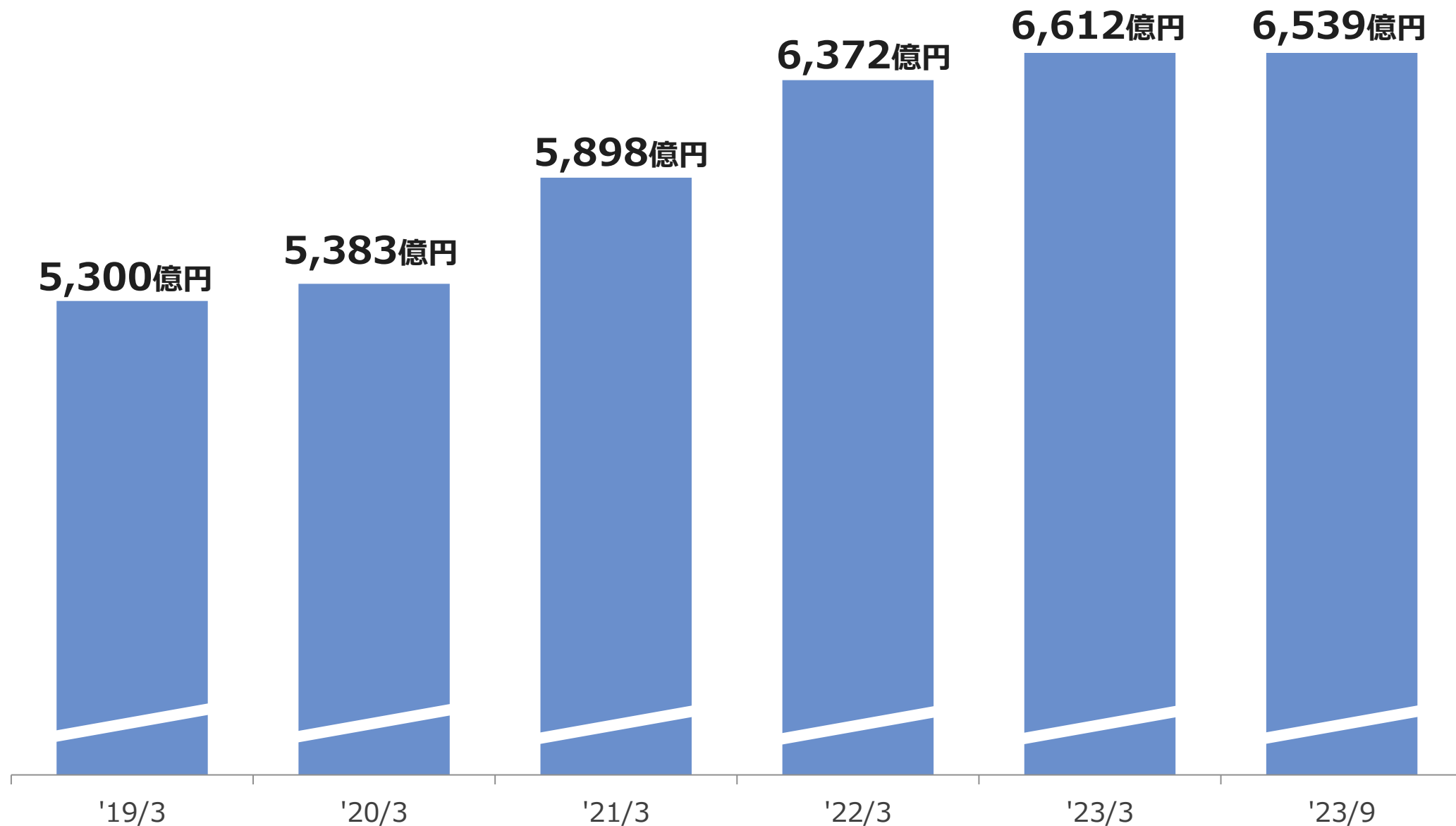


※ コア業務純益(除く投資信託解約損益)

貸出業務や役務サービスなど金融機関の本来の収益力をあ
らわす。本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から、
国債の売買損益、投資信託解約損益など、一時的な変動
要因を除いたもの。

2. 貸出金の推移（単体）

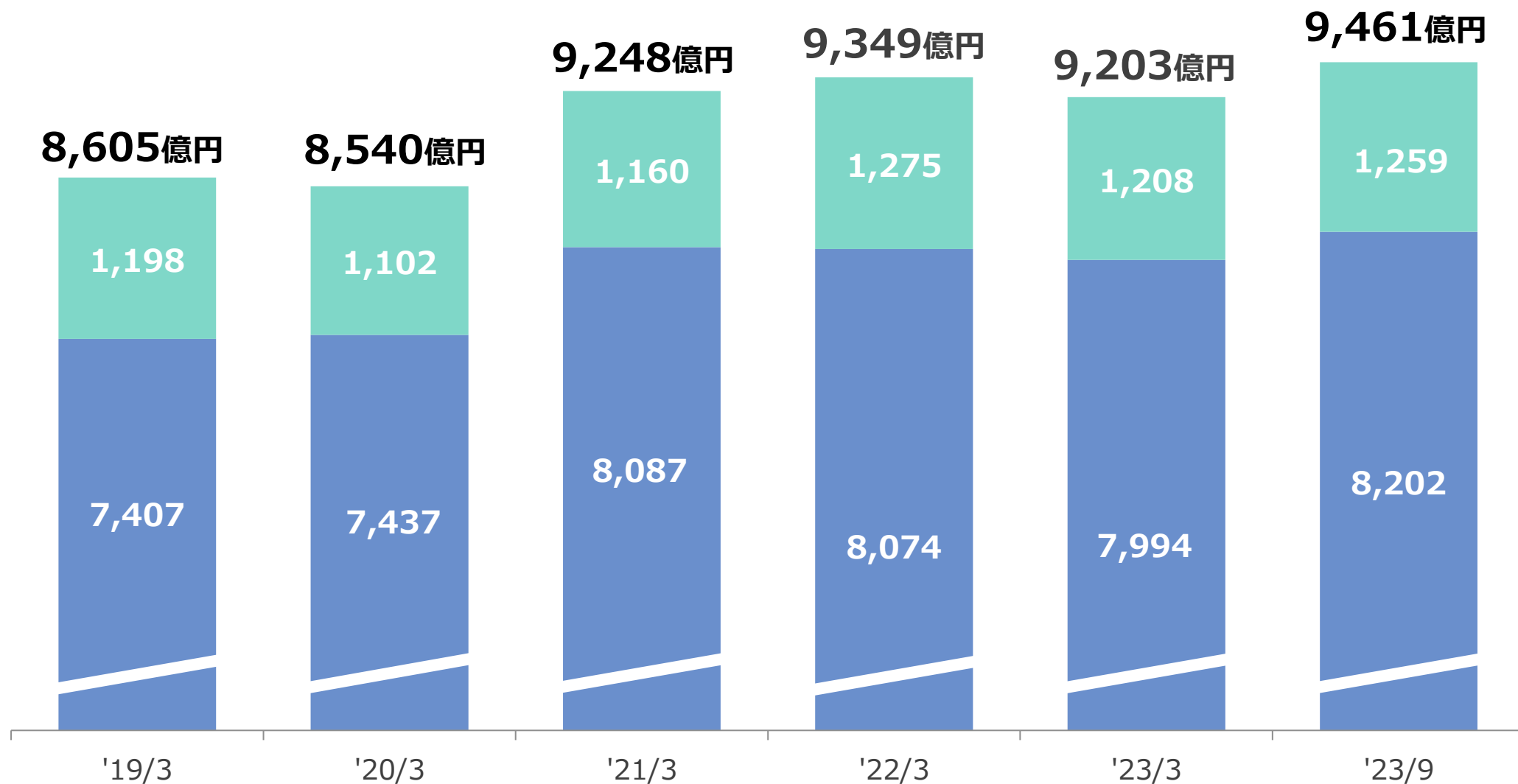
2023/9末の貸出金残高は、住宅ローンは増加したものの事業性貸出が減少したことから、2023/3末比72億円減少して6,539億円となりました。



3. 総預金＋預り資産残高の推移（単体）

2023/9末の総預金と預り資産残高は、総預金及び預り資産のいずれも増加し、2023/3末比258億円増加して9,461億円となりました。

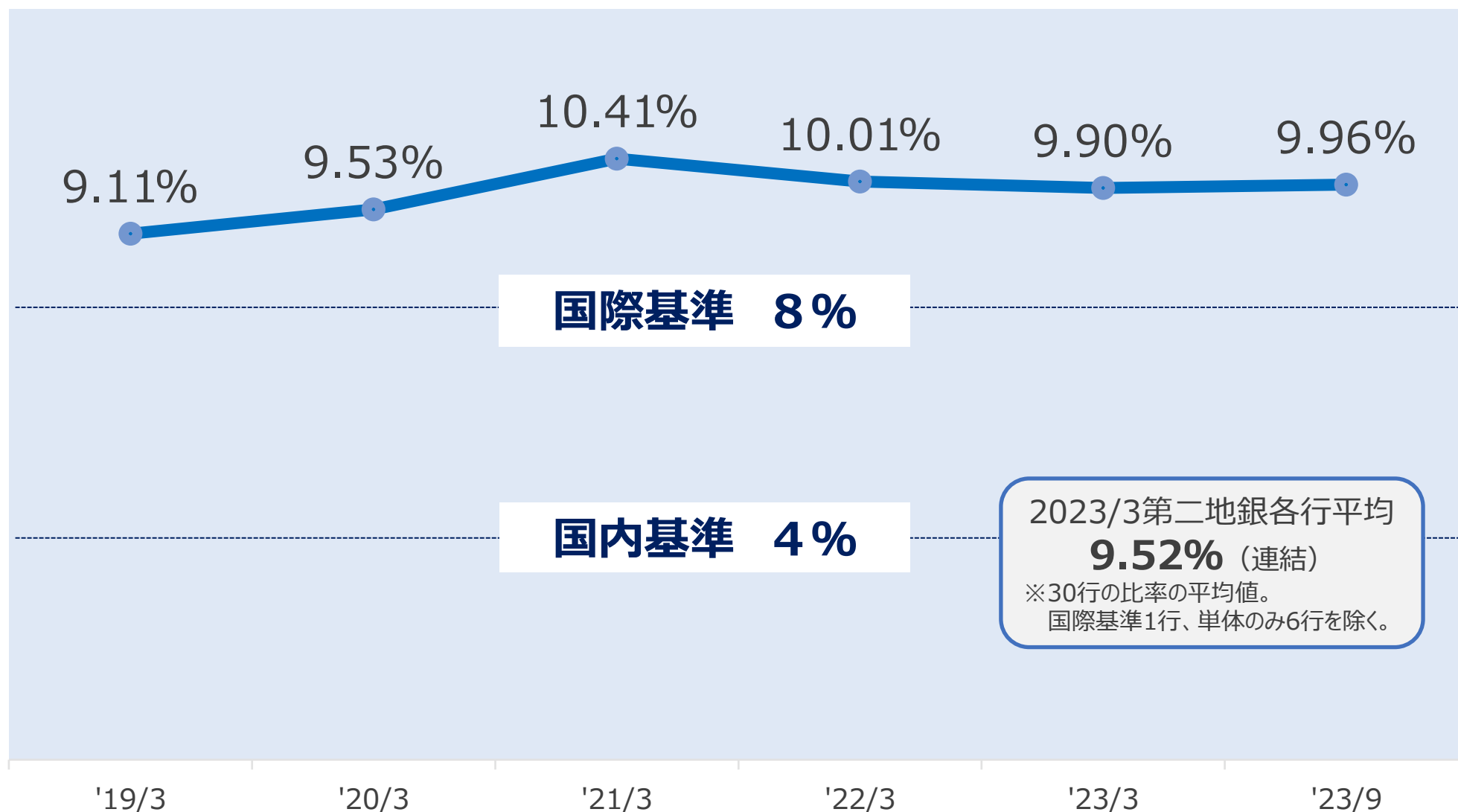
■ 総預金（末残） ■ 預り資産（投資信託＋公共債＋個人保険）



4. 自己資本の状況（連結）

2023/9末の連結自己資本比率は9.96%となり、2023/3末比0.06ポイント上昇しました。

● 連結自己資本比率

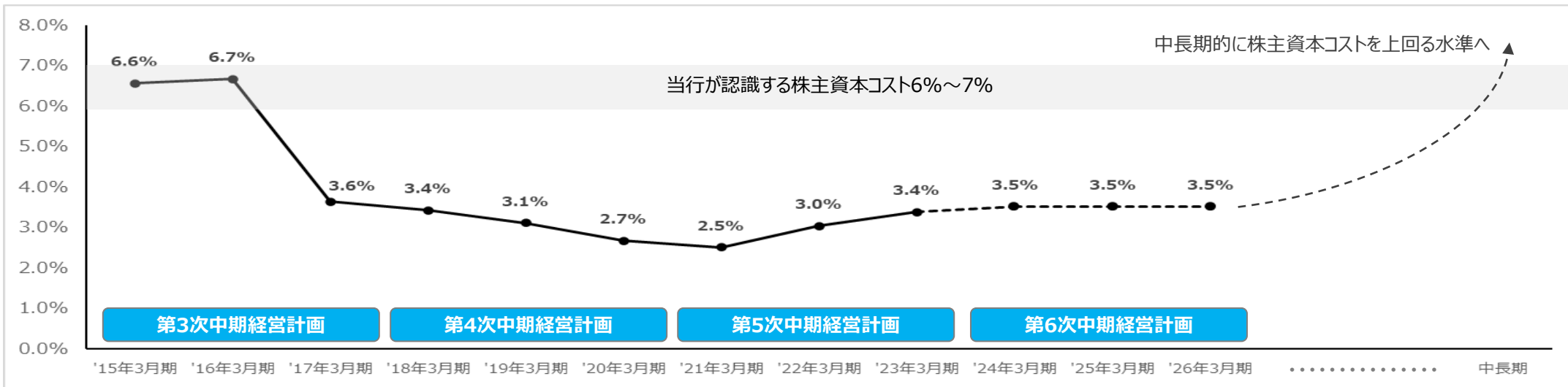


5. 企業価値向上に向けた取組み

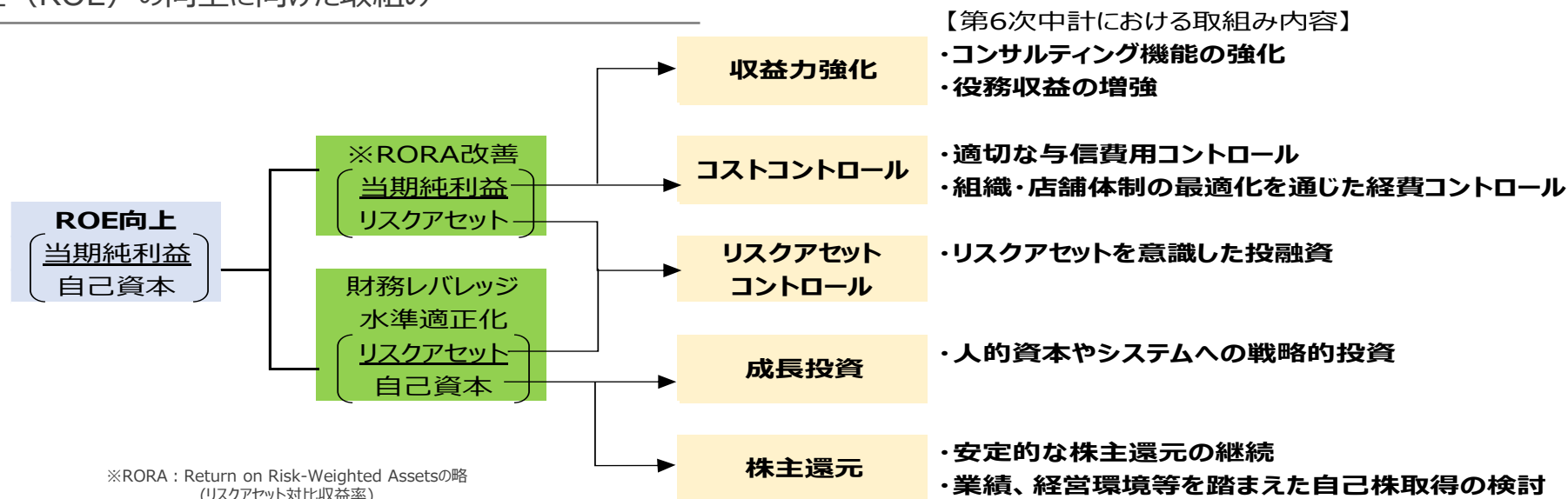
【株主資本コストおよび資本収益性】

➤ 当行のROE（資本収益性）は、株主資本コストを下回る状況が続いております。従いまして、今年度スタートした**第6次中期経営計画**を着実に実行し**企業価値を高める**とともに、**中長期的には、株主資本コストを上回る水準を目指します。**

当行の株主資本コストおよび資本収益性（ROE）



資本収益性（ROE）の向上に向けた取組み



※RORA：Return on Risk-Weighted Assetsの略
(リスクアセット対比収益率)

本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありませんので、予めご了承くださいませようお願いします。

本資料に関するお問い合わせ先
大東銀行 経営部
TEL : 024-925-3872 (ダイヤルイン)